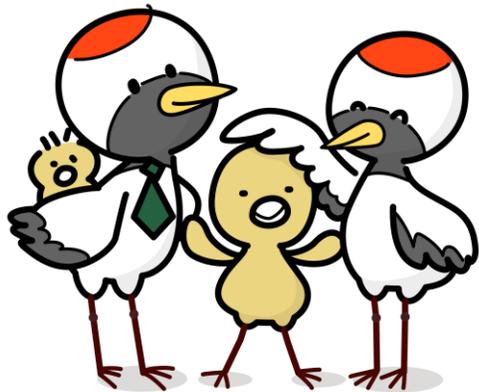


- ① スクールビジョンについて
- ② 新設教科について
- ③ 学校名について
- ④ 学校生活について
- ⑤ 登校時間について



日 時 令和7年7月31日（木）
場 所 まなぼっと幣舞
特別会議室801

釧路市教育委員会
学校教育部 学校指導課
学びの多様化学校開校準備係

はじめに 対象となる生徒の振り返り

状態5	状態4	状態3		状態2		状態1	状態0
部屋に閉じこもり家族ともほとんど顔を合わせない	家庭内では安定しているが、外出はむずかしい	学校以外の施設への定期参加はできないが、外出はできる	学校以外の施設への定期的参加ができる	保健室、別室登校、欠席が増えている		遅刻・欠席がしばしばある 保健室通いが多い	ほぼ平常に登校できる
<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど自室から出ることがない ・生活リズムの乱れが大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ・家で落ち着いた生活 ・家族と係ることが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や買い物等には出かけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の学びの場に定期的に通うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・週3日以上欠席 ・保健室、別室登校が週の半数以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1～2日の欠席 ・遅刻や早退が週の半分以上 ・保健室、別室が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1～2日の欠席 ・遅刻や早退が週の半分 ・保健室、別室を時々利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・心理的負担あり ・登校しづり
外出できない		外出できる					

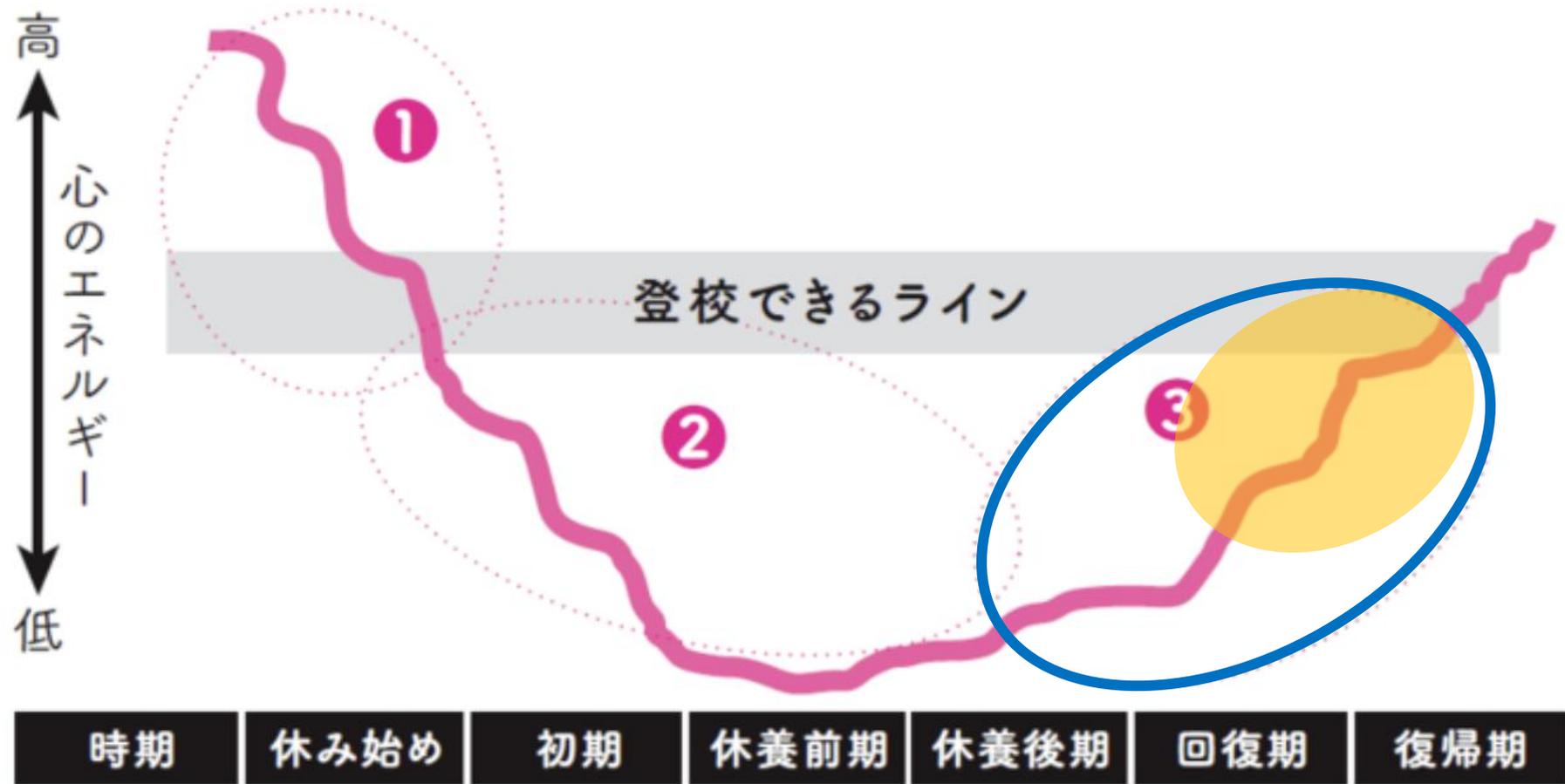
まなびや

学びの多様化学校

釧路こども家庭支援センター

校内教育支援センター

はじめに 対象となる生徒の振り返り



①スクールビジョンについて

①スクールビジョン（目指す学校の姿）について

◎前回のご意見

- ・ 学びの多様化学校で学べることと次のステップの2本立てで作ってはどうか
- ・ 学校のイメージと子どもたち向けの2本立てで作ってはどうか
- ・ 子どもに寄り添う内容（「いいんだよ」「大丈夫だよ」というメッセージ）を取り入れてはどうか
- ・ 子どもたちが通いたくなるようなことを具体的に取り入れてはどうか

+

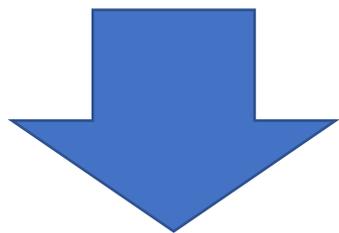
事務局が考える【目指す学校の姿】のポイント

- ①自分らしく安心して通える学校
- ②学びや体験を通じて成長できる学校
- ③自分の歩みで成長できる学校
- ④未来（将来）を発見できる学校
- ⑤いろいろな学びにチャレンジできる学校

①スクールビジョン（目指す学校の姿）について

委員から提供いただきました案や事務局で作成した案として、次のたたき台をもとに検討しました。

- ①自分らしく希望をもって通える学校
- ②だいじょうぶ 安心して未来を探せる学校
- ③悩みに寄り添い、一緒に安心して過ごせる学校
- ④自分らしく学び、希望をもって学ぼう
- ⑤認め合い、支えあい、新しい自分を見つけよう



（不登校生徒からの聞き取り）

- ・ 少人数で学びたい
- ・ 校則や委員会はないほうがいい など

○事務局案○

自分らしく安心して通える学校

生徒たちが新たな学びの場として、安心して通うことができ、個人のペースを大切にしながら、自分らしく学ぶことができる学校

②新設教科について

②新設教科について（新設教科 1 教科名 目標 案）

新設教科 1

教科名 「ふるさと探究」

通称 「I-Time」

自分
探究的に学ぶ
突き詰める
発見

I
Inquiry Based Learning
Investigate Thoroughly
Insight

目 標

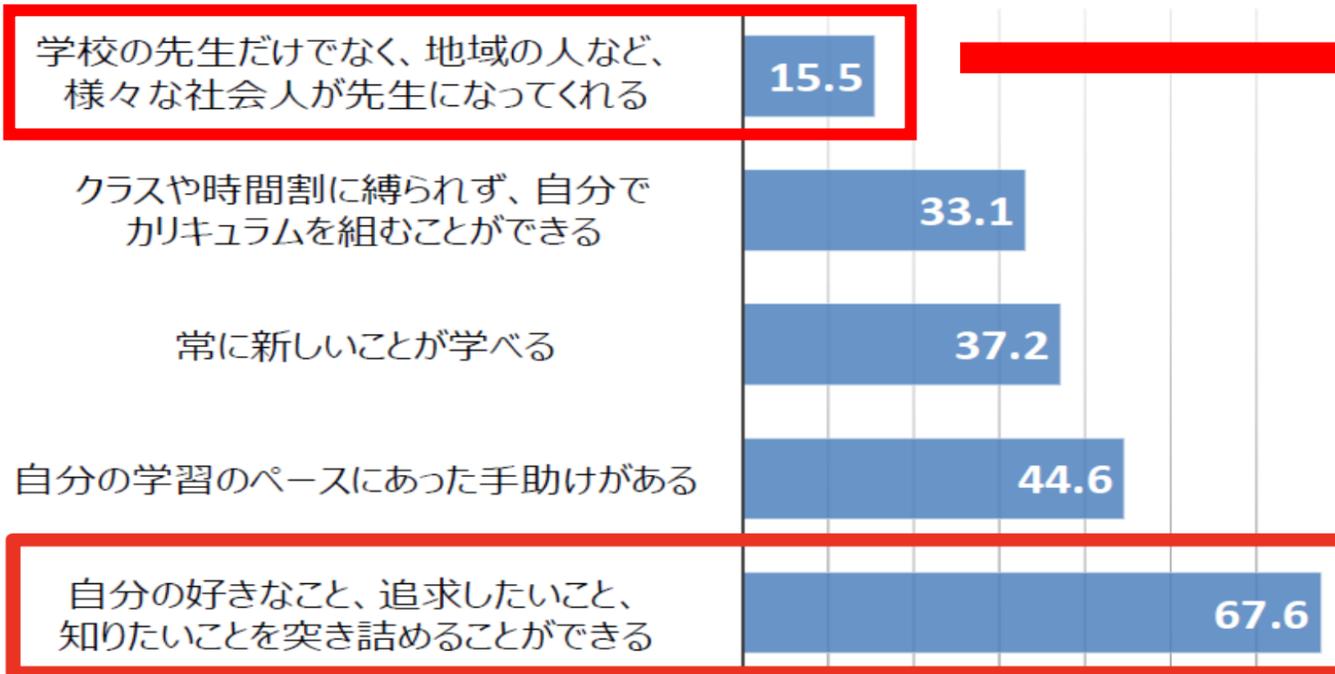
釧路市の魅力的を生かした体験をする中で、自己肯定感を高めることで、社会的自立を促し、共生社会を生き抜く力を身につける

②新設教科について（新設教科1 設定の理由）

新設教科1

不登校または不登校傾向にある現中学生と卒業生（卒業後～22歳）が思う「学びたいと思える場所」

文部科学省 第8回教育課程企画特別部会 資料より



体験的学習を取り入れる

- ・現実の生活への興味関心、意欲の向上
- ・問題発見や問題解決能力の育成
- ・自己との出会いと自己肯定感の育成
- ・社会性や共に生きる力の育成
- ・人と関わる力の育成

探究的な学びを取り入れる

- ・実生活に結びつけて考えたり、生かしたりする力の育成
- ・自分で学び方を考え、工夫する力の育成
- ・地域を良くするためになにかしてみたいと思う意欲の育成
- ・教科の勉強に対する意欲向上

②新設教科について（新設教科1目標達成のために 案）

自然・環境に関する体験的学習

- 釧路湿原の自然観察&調査学習
-
-

産業・地域文化に関する体験的学習

- 釧路港の漁業体験&市場見学
-
-

自己肯定感を高める工夫

- 「自分で決める」経験を多く取り入れる
- 「やったぞ！」という挑戦体験を積ませる
- 「できた！」という小さな成功体験を積ませる
- 他者との協働で「自分の良さ」に気づかせる
- 地域や社会とつながる体験を取り入れる

歴史・地域に関する体験的学習

- 釧路の歴史探訪まち歩き
-
-

芸術・感性に関する体験的学習

- 釧路湿原を題材にした自然スケッチ、写真
-
-

探究的に学ぶ

「働くことの意味」や「自分の将来像」といった視点を持たせ、生徒が体験→振り返り→自己理解とつながるようにする。

②新設教科について（新設教科 2 教科名 目標 案）

新設教科 2

教科名 「ソーシャルの時間」

通称 「S-Time」

コミュニケーション能力向上

自己理解

自己表現

自己管理

Social Skills Up

Self Understanding

Self Expression

Self Management

目 標

コミュニケーション能力と自己管理能力を身につける

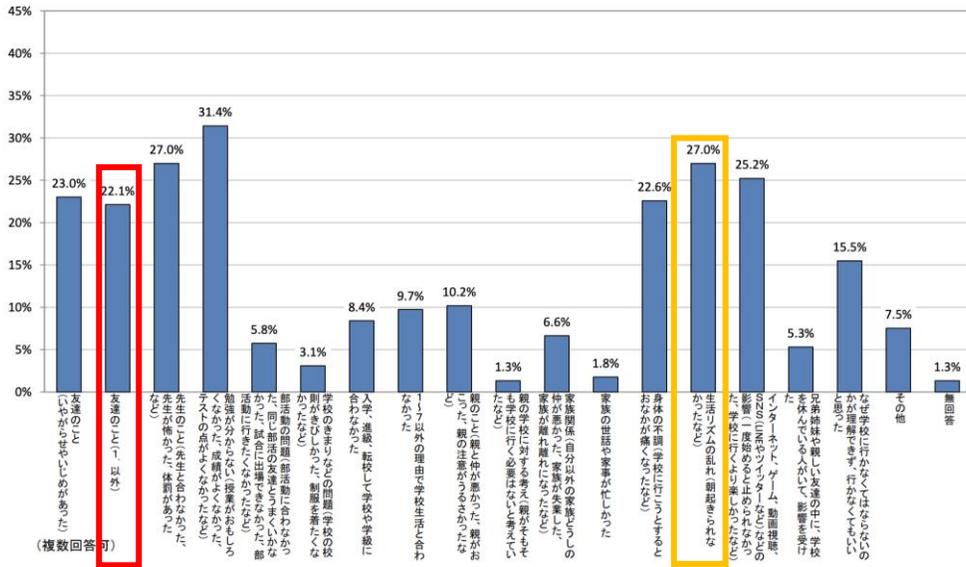
②新設教科について（新設教科2 設定の理由）

新設教科2

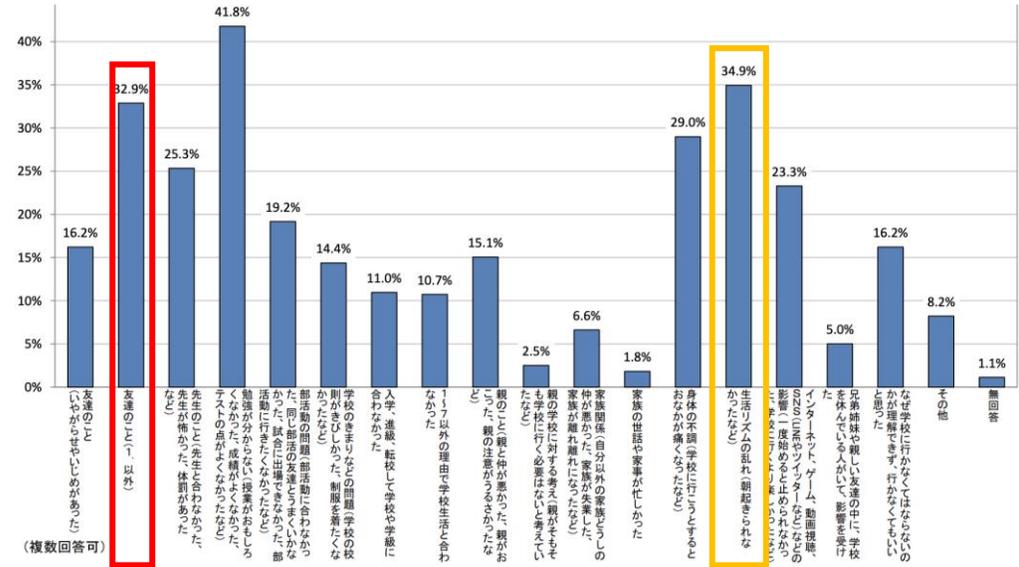
最初のきっかけとは別に行きづらくなるきっかけ

文部科学省 令和2年度不登校児童生徒の実態調査 より

小学校



中学校



21.7%

友達のこと

25.6%

27.0%

生活リズムの乱れ

34.9%

ソーシャルスキルトレーニング等を取り入れる

②新設教科について（新設教科2 設定の理由 補足）

新設教科2

最初のきっかけとは別に行きづらくなるきっかけ（質問項目）

文部科学省 令和2年度不登校児童生徒の実態調査 より

無回答	その他	なぜ学校に行かなくなるとはならないのか が理解できず、行かなくなってもいい と思った	兄弟姉妹や親しい友達の中に、学校 を休んでいる人がいて、影響を受け た	インターネット、ゲーム、動画視聴、 SNS（LINEやツイッターなど）などの 影響（一度始めると止められなかつ た、学校に行くより楽しかったなど）	生活リズムの乱れ（朝起きられな かったなど）	身体の不調（学校に行こうとすると おなかが痛くなったなど）	家族の世話や家事が忙しかった	家族関係（自分以外の家族どうしの 仲が悪かった、家族が失業した、 家族が離れ離れになったなど）	親の学校に対する考え（親がそもそ も学校に行く必要はないと考えてい たなど）	親のこと（親と仲が悪かった、親がお こった、親の注意がうるさかったな ど）	1〜7以外の理由で学校生活と合わ なかった	入学、進級、転校して学校や学級に 合わなかった	学校のきまりなどの問題（学校の校 則がきびしかった、制服を着たくな かったなど）	部活動の問題（部活動に合わなかつ た、同じ部活の友達とうまくいかな かった、試合に出場できなかつた、部 活動に行きたくなかつたなど）	勉強が分からぬ（授業がおもしろ くなかつた、成績がよくなくなかつた、 テストの点がよくなかつたなど）	先生のこと（先生と合わなかつた、 先生が怖かつた、体罰があつた など）	友達のこと（1. 以外）	友達のこと （いやがらせやいじめがあつた）	

（複数回答可）

②新設教科について（新設教科2目標達成のために 案）

領域1：自己理解・自己表現

- ・自己肯定感・安心感の土台づくり

領域3：自己管理スキル

- ・自立と生活の安定化につなげる

コミュニケーション能力の育成

⇒ 傾聴、自己表現、相互理解、対人関係の基本

自己管理能力の育成

⇒ 感情コントロール、時間・目標管理、生活習慣、自己理解

※無理に関わらせない、観察→共感→参加の順で段階的に支援する

領域2：人との関わり方

- ・安全な対話の練習、自他の尊重

領域4：応用・実践活動

- ・自信と達成感の体験、社会性の応用

学校生活全般で、体験的・実践的に学ぶ

スクールカウンセラー(SC)の専門性を生かした授業づくりにも取り組む

- ・心のケアと社会性の発達支援をバランスよく進める
- ・不登校傾向や自己肯定感の低さを抱える生徒には、「心の安全基地」としての役割も果たす。

③学校名について

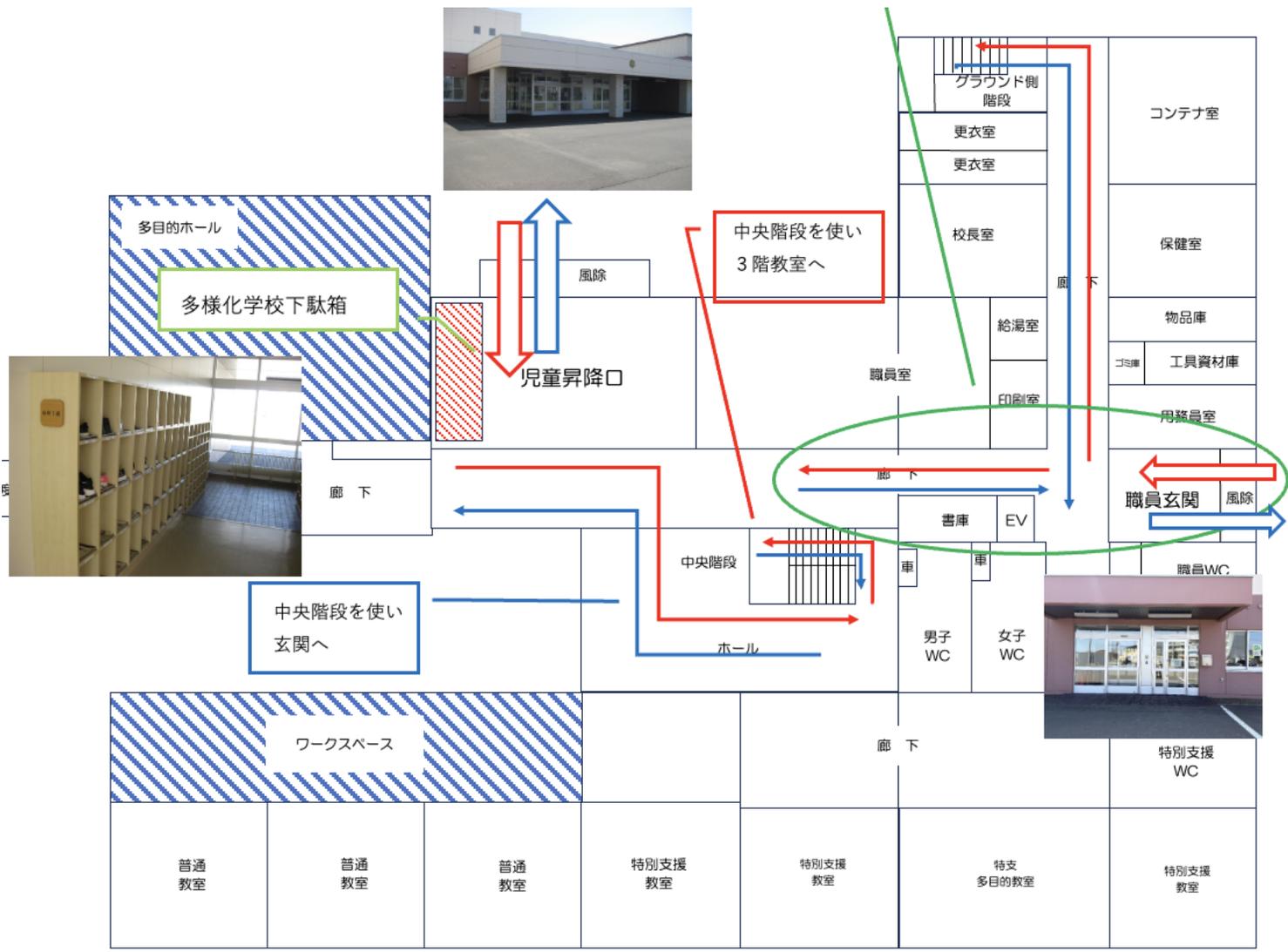
③学校名について

学校名	説明
(くしろ) ひだまり中学校	安心して心穏やかに通える学校
(クシロ) ココノハ中学校	「個々」の「葉」が伸びやかに育つ様子から、一人ひとりを大切にする学校
(くしろ) にじいろ中学校	一人ひとり違う色を持ち、自分らしく学べる学校
(くしろ) いろどり中学校	一人ひとり違う色を持ち、自分らしく学べる学校
虹伸 (こうしん) みらい中学校	周囲と比較することなく、成長できる学校

④学校生活について

中央小学校児童と多様化学校生徒への配慮（児童生徒の分離）

児童生徒の負担軽減のため、接触を少なくする（動線の工夫）



学びの多様化学校における学校生活

- 服装 制服とジャージは指定せず、私服登校とする予定です。
合わせて、上靴も指定はせず、動きやすいものを用意いただく
予定です。
- 入学式・卒業式
本校とは別に多様化学校独自で執り行います。
- 修学旅行・学校祭等学校行事
状況をみながら生徒と話し合いつくり上げていく予定です。
- 部活動
学びの多様化学校として部活動はありません。
- 給食 提供します。

⑤登校時間について

登校時間について

○第1回 検討委員会

生徒登校	9:00		
ホームルーム ウォームアップ	9:10	~	9:25
1	9:30	~	10:15
新設教科2	10:20	~	10:45
2	10:50	~	11:35
3	11:40	~	12:25
給食	12:25	~	12:55
清掃	12:55	~	13:10
昼休み	13:10	~	13:25
4	13:25	~	14:10
5	14:15	~	15:00
ホームルーム クールダウン	15:05	~	15:20
学びなおし 発展	15:20	~	15:50



一時間目以降変更なし

○登校時刻 変更

生徒登校	9:15		
ホームルーム ウォームアップ	9:15	~	9:25
1	9:30	~	10:15
新設教科2	10:20	~	10:45
2	10:50	~	11:35
3	11:40	~	12:25
給食	12:25	~	12:55
清掃	12:55	~	13:10
昼休み	13:10	~	13:25
4	13:25	~	14:10
5	14:15	~	15:00
ホームルーム クールダウン	15:05	~	15:20
学びなおし 発展	15:20	~	15:50